



Daito Chuo Osaka Japan

# 第2660地区 大東中央ロータリークラブ

## \*事務所

〒574-0046  
大東市赤井1-2-10-4F  
TEL : 072-872-6349  
FAX : 072-872-6552  
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



## \*例会

毎週水曜日 18:30~19:30  
大東市立市民会館  
〒574-0076 大東市曙町4-6  
TEL : 072-871-0001  
FAX : 072-871-0004

■会長:池田文治 ■幹事:古川真照 ■会報委員長:庵谷和宏



RI会長 ジョン・ジャーム

2016~2017年度  
国際ロータリー・テーマ  
人類に奉仕するロータリー

### 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか

第 951 回 例会 平成 28 年 10 月 26 日

歓迎！ 松本 進也 ガバナー 公式訪問



開 会 点 鐘 : 18:30  
ロータリーソング : 「奉仕の理想」  
来 客 紹 介 : 親睦活動委員長  
会 長 の 時 間 : 会 長  
諸 報 告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱  
卓 話 : RI第2660地区ガバナー 松本 進也 氏  
閉 会 点 鐘 : 19:30

### 松本 進也 ガバナー プロフィール

生年月日 1947(昭和22)年 2月20日

職 業 外食チェーン 代表取締役社長

所 在 地 大阪市中央区難波千日前9-11

#### 【経 歴】

1969年 慶應義塾大学商学部 卒業

1969年 株式会社三和銀行 入行  
(現・株式会社三菱東京UFJ銀行)

1971年 松本商事株式会社 専務取締役  
松本興業株式会社 同上

1983年 松本フード株式会社 設立 専務取締役

1996年 松本商事株式会社 代表取締役社長  
松本興業株式会社 同上  
松本フード株式会社 同上

2015年 現在に至る

#### 【職業分類】 外食チェーン

【その他】 マルチプル・ホール・ハリス・フェロー ベネファクター マジヤードナー  
ホール・ハリス・ソサエティ 米山功労者(マジヤードナー)

#### 【ロータリー歴】

1987年10月14日 大阪北ロータリークラブ入会

1993-94年度 幹事

1996-97年度 国際奉仕担当理事

1998-99年度 友好委員長(理事)

2001-02年度 S.A.A.

2002-03年度 国際交流委員長(理事)

2003-04年度 副会長

2008-09年度 会長

2011-12年度~12-13年度

創立60周年記念行事実行委員長

#### 【第2660地区】

1999-00年度 拡大委員会委員

2000-01年度 地区副代表幹事 拡大委員会委員

2001-02年度 拡大委員会委員

2003-04年度 地区幹事

2004-05年度 地区代表幹事

連続27年皆出席(2014~15年度時点)



次回（11月9日）のお知らせ

卓話：「ロータリー財団月間に因んで」 担当：前田 博子 ロータリー財団委員長

10月19日の例会の記録

出席報告

ニコニコ箱

会員数	: 28 名	・大和田委員長卓話宜しくお願いします。森原会員
出席者数	: 15 名	・米山月間よろしくお願ひします。糸川会員
欠席者数	: 6 名	・早退のおわび、旅行楽しみです。白川会員
出席規定免除者数	: 7 名	・上海に1週間出張します。庵谷会員
出席率	: 71.42 %	・伊勢志摩来週です。11時集合。青田会員
10月12日 修正出席率	: 80.00 %	



お客様	84.61 %	当日計	¥10,000
米山奨学生：サンウィンモー様		今期累計額	<u>¥319,200</u>

《会長の時間》

会長 池田 文治

本日は2014年の10月のRI理事会により決定した。特別月間の「経済と地域社会の発展月間」について、お話しさせていただきます。

私たちが、事業を行う上で利用できる補助金は大きく2つに分けられます。1つは今年度「社会奉仕」によって、「ぬっく」の支援を行いました「地区補助金」です。それと、もう一つは「グローバル補助金」です。この補助金の必須の重点分野の中に「経済と地域社会の発展」という項目があります。

松本ガバナーがG月信の中で紹介されておりますようにプロジェクトの例を挙げて説明したいと思います。

ウガンダのオドゥオロ村に井戸を作ったプロジェクトです。

「ビッキーと私は、村人に解決策を押し付けるのではなく、村人の考え方を尊重し、村の文化を守りつつ、プロジェクトを進めたいと考えました」とスティーブさん。「最初の目標はこの村にきれいな水の供給システムと作ることでしたが、最終的な決定は私たちではなく、村の年長者が下さなければなりませんでした。そこで私は彼らに提案書を提出しました。内容は村が10のおとし便所を掘るならば、私たちが新しい井戸のために、2つの掘削孔をつくるというものでした。年長者は半日の寄り合いを開き、私たちの提案を受け入れてくれました」それから、オドゥオロ村の変革が始まりました。



村にロータリー地域社会共同隊を設立、ロータリアンに地元のニーズについて伝えました。地区内のクラブは、このプロジェクトのために23,000ドルを集め、その一部は村人への農業研修にあてられました。その研修により村人は、農機具の使い方を学び、昨年は40人が有機農業の研修を受けました。

スティーブさんは、「最初に私たちが村を訪れた時は、農機具もなく、村人は木の棒などを使って、種をまくための畝間を作っていました」と話します。クラブ会員は、第5330地区と協力し、水と衛生プロジェクトのためのロータリー財団補助金を申請し、その一部では壊れた9つの掘削孔の修復と村人への職業研修（水タンクの作り方）が行われました。ウォレス夫妻はこのプロジェクトが始まって以来、毎年オドゥオロ村を訪れています。ある年長者はウォレス夫妻に、このような華々しい出来事がこの村で起こるとは思わなかったと話したそうです。この年長者は続いて、このプロジェクトの影響力を物語る言葉を残しました。「あなた方は食べるための魚をくれたのではなく、私たちに、釣り糸を与えてくれました。心から感謝します」最後の長老の言葉がすべてだと思います。

要するにお金や物を寄付したり援助するだけで無く、その地域の将来を考え職業研修や訪問を行い、経済や社会の発展を援助すると言う事だと思います。

●) ) 先週の卓話 ( (●



「米山月間に因んで」

米山奨学委員会  
委員長 大和田 雅江

本日はロータリー米山記念奨学事業として、スライドを使い皆様にご報告させていただきます。

国内最大級の事業規模で、2016年学年度では全国750名、累計19,197名の米山奨学生を迎えています。当地区では42名（インドネシア・ベトナム・フィリピン・ロシア・タイ・ミャンマー等）。

寄付はきちんと使われているか。

3年連続で黒字決算、寄付の税制優遇など今年度、我ロータリークラブ会長、目標は1名25,000円。一人でも多くの方に呼びかけます。



また、現在奨学生として迎えているサンウィンモーさんに語ってもらいました。米山奨学金が受けられないときは、アルバイトばかりで日本語も十分に学ぶ時間もなくて生活に追われる状況だったが、米山奨学金を受けられるようになって、友達も出来たし、親にも心配かけることなく大変助かっていると報告がありました。

ヒンズー教の教えに“人間は生まれるときは両手を握って生まれてくるが、人間が死ぬときは両手を開いて、何も持ってあの世に行くことは出来ない”生きているうちに生きたお金を使い、ロータリー精神の“人類に奉仕する”心を持ちたいものです。

皆様の一人でも多くのご協力をお願いいたします。10月中に集めますので宜しく！



米山奨学生 サンウィンモーさん



伊勢志摩親睦旅行  
2016.10.25～26

